

2012年3月期 決算説明会

2012年5月11日
THK株式会社
代表取締役社長
寺町彰博

本資料に含まれている事業計画、業績予想、経営戦略など将来の見通しに関する事項は、本資料制作時点において入手可能な情報に基づき、THK株式会社の経営者が判断したものです。したがって、環境の変化により、業績や戦略の進捗状況が異なることがあり得ることをご承知ください。また、当資料には決算開示事項以外の参考情報が含まれますこともご承知ください。

I. 2012年3月期 決算概要

売上高は前期比3.3%増の1,968億円となった

※地域別売上高は
海外売上高ベース

- 国内では、夏場以降エレクトロニクス向けの需要が調整したものの、前半の好調な需要を売上高に繋げることができた
- 海外では、夏場以降、エレクトロニクス向けの調整に加え、中国の金融引き締めにより需要が調整する中で、アジア他地域向けは前期並みとなった一方、欧米は好調な需要を背景に、着実に売上高を増加させることができた

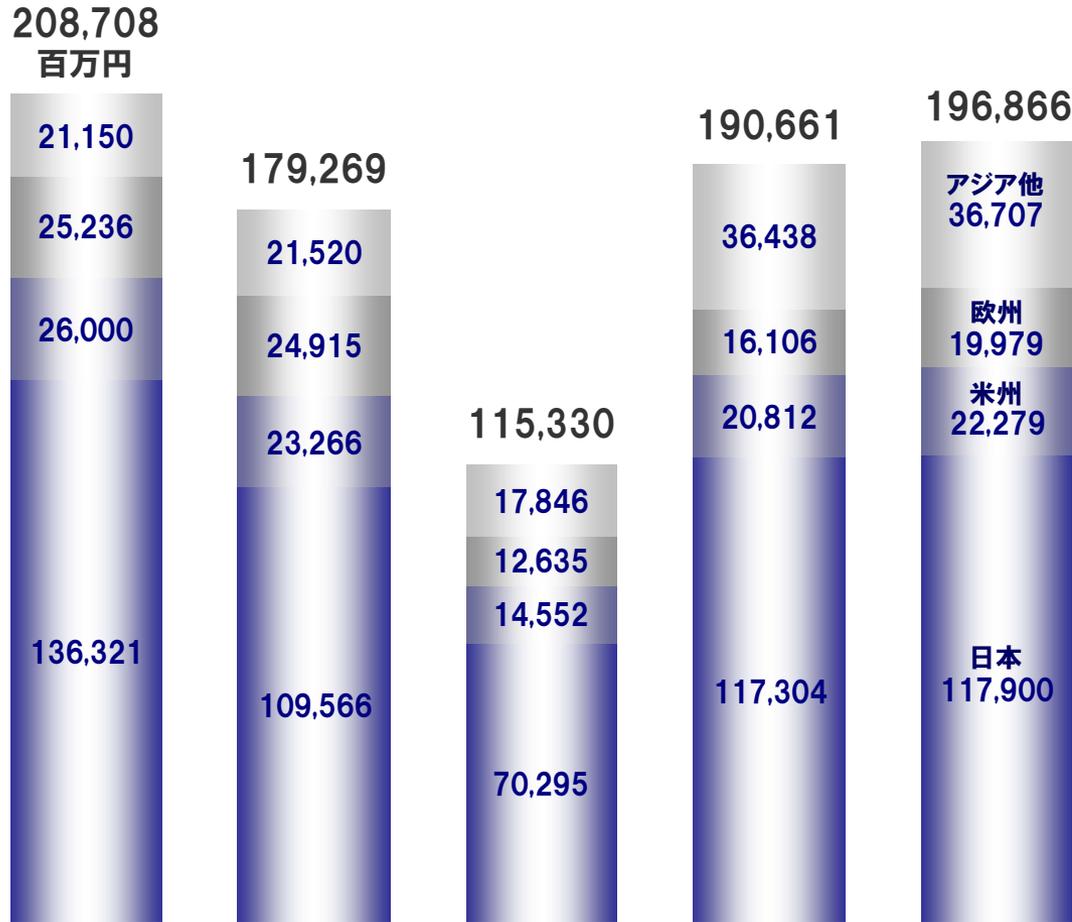
営業利益は前期比9.6%減の197億円となった

- 売上高増加に伴う数量効果
- 円高によるマイナス効果
- 製品構成による影響
- 減価償却制度変更などに伴う固定費の増加

売上高、利益ともに11月発表の修正計画を上回った

- 11月に修正発表した売上高1,900億円、営業利益185億円、経常利益150億円、当期純利益95億円をいずれも上回った

売上高の推移



邦貨換算レート	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3
1US\$	117.84	103.46	93.58	87.81	79.84
1EUR	161.24	152.44	130.21	116.39	111.11

アジア他 | 前期比 +0.7%

- 韓国 △35.4%
- 台湾 +11.9%
- 中国(産業用機器) +34.9%

欧州 | 前期比 +24.0%

- 工作機械 +52.4%
- 一般機械 +27.3%
- エレクトロニクス △3.9%

米州 | 前期比 +7.0%

- 工作機械 +31.0%
- 一般機械 +3.4%
- エレクトロニクス △9.6%

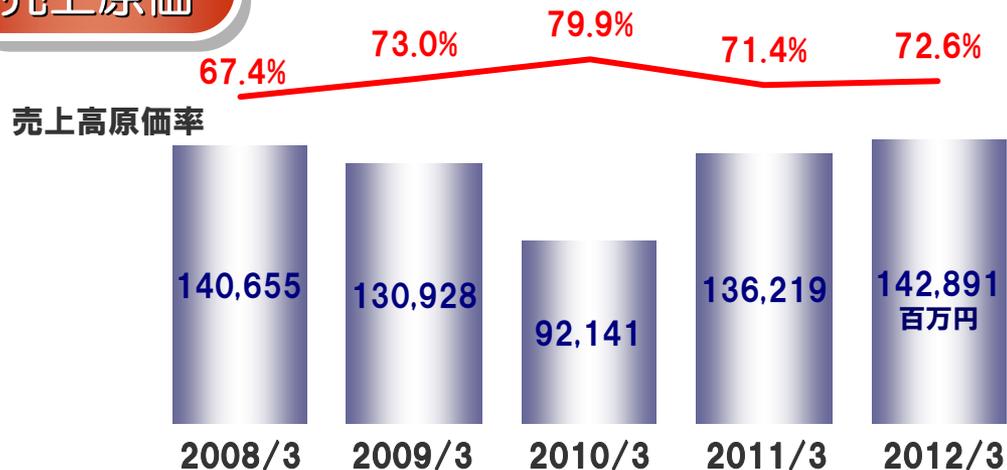
日本 | 前期比 +0.5%

- 工作機械 +20.0%
- 一般機械 △6.8%
- エレクトロニクス △17.8%

※地域別売上高は所在地セグメントではなく海外売上高ベース

売上原価および販管費の推移

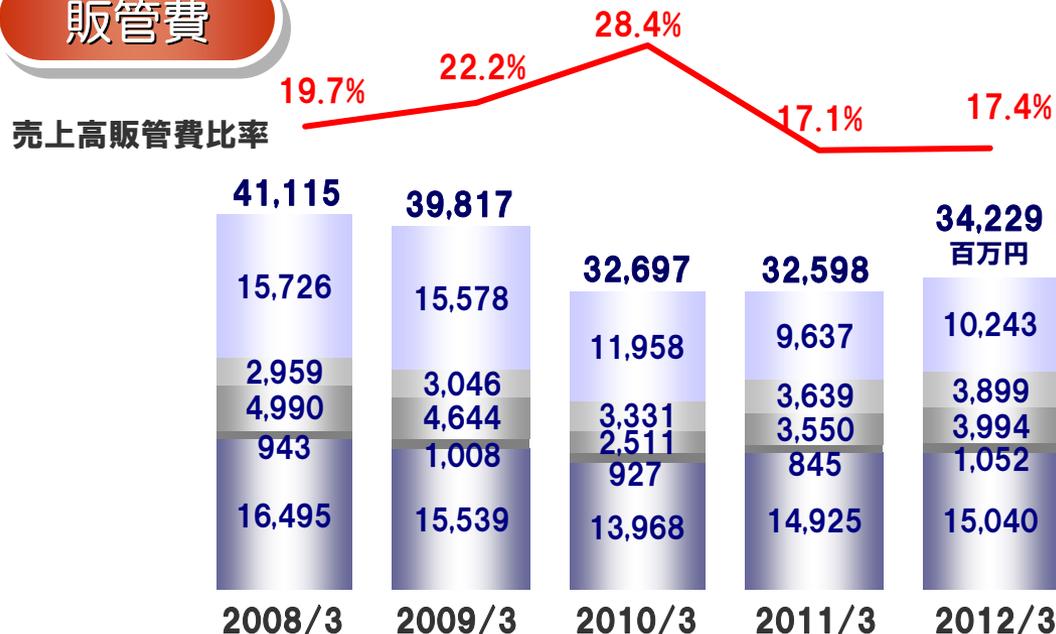
売上原価



原価率は前期比1.2ポイント上昇

- ・固定費の増加
- ・減価償却制度変更の影響
- ・為替の影響

販管費



その他 | 前期比 +605百万円、+6.3%
・BCP対応に伴う業務委託費の増加

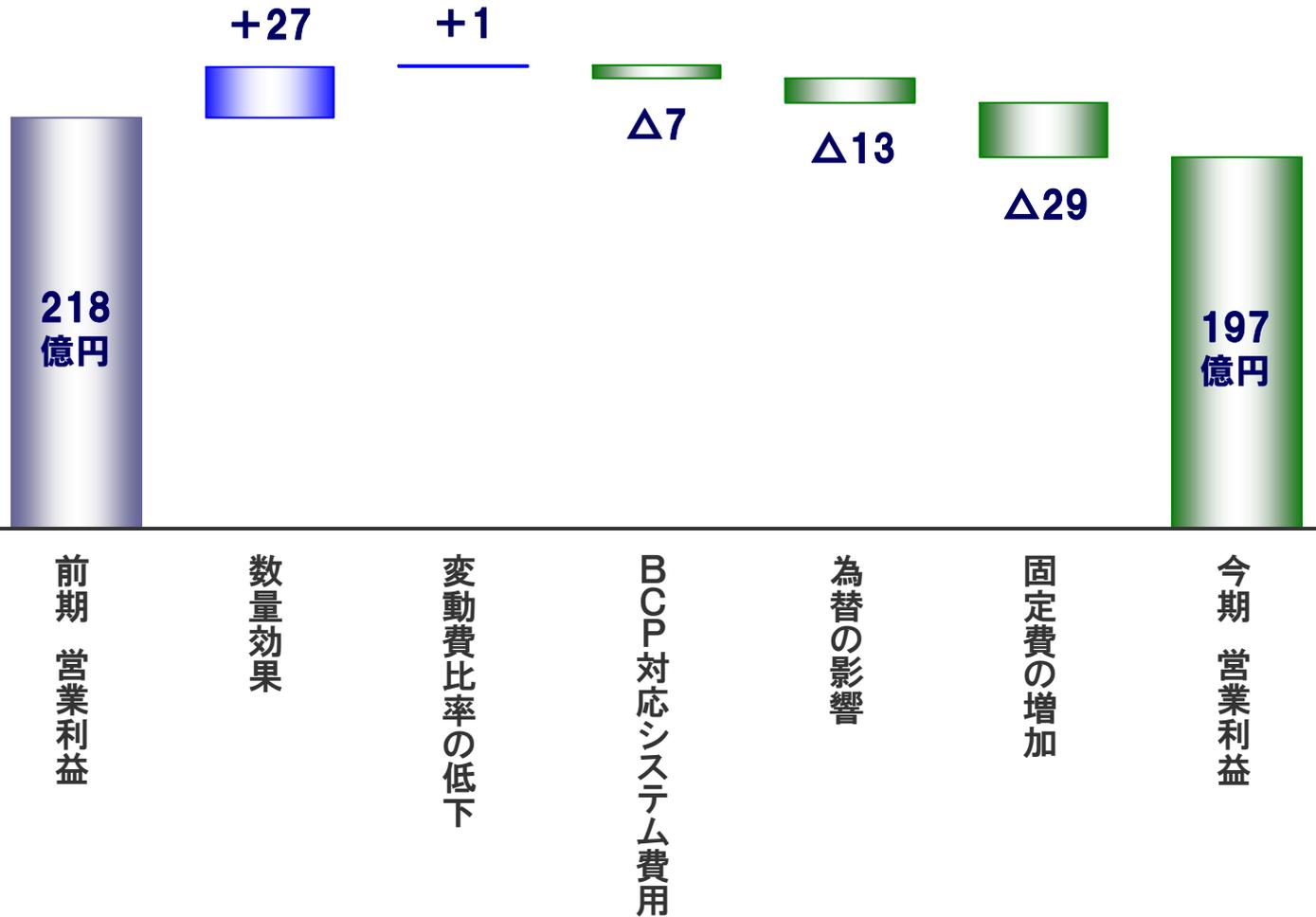
研究開発費 | 前期比 +259百万円、+7.1%

販売・物流費 | 前期比 +444百万円、+12.5%

減価償却費 | 前期比 +206百万円、+24.4%

人件費 | 前期比 +115百万円、+0.8%

(参考) 営業利益 増減要因



資産・負債/純資産の状況

総資産 288,333 百万円
 前期比 +8,564 百万円

現金及び預金 | 前期比 +10,684百万円

営業CF	16,504百万円
投資CF	(10,863)百万円
財務CF	6,937百万円
換算差額	(2,164)百万円
新規連結	270百万円

売上債権 | 前期比 Δ3,407百万円

売上債権回転月数	前期 3.6ヶ月 当期 3.2ヶ月
----------	----------------------

棚卸資産 | 前期比 Δ670百万円

棚卸回転月数	前期 1.7ヶ月 当期 1.6ヶ月
--------	----------------------

有形固定資産 | 前期比 +4,202百万円

設備投資	13,880百万円
減価償却費	10,233百万円

無形固定資産 | 前期比 +1,512百万円

投資その他の資産 | 前期比 Δ4,137百万円

保険積立金の減少

流動資産

198,652
 前期比 +6,986

負債

112,816
 前期比 +984

純資産

175,516
 前期比 +7,579

固定資産

89,680
 前期比 +1,577

流動負債 | 前期比 Δ7,419百万円

■仕入債務 前期比	Δ4,081百万円
仕入債務回転月数	前期 2.0ヶ月 当期 1.7ヶ月

■未払法人税等 | 前期比 Δ3,656百万円

固定負債 | 前期比 +8,404百万円

普通社債の発行
 退職給付引当金の減少

当期純利益 12,641百万円

為替換算調整勘定 | 前期比
 Δ3,822百万円

Ⅱ. 経営環境認識と当社の戦略

経営目標

グローバル展開

海外市場 本格的なグローバル展開
海外売上高 1,500億円
海外売上高比率 50%

ビジネス領域の拡大
連結売上高: 3,000億円

営業利益率 20%
ROA 15%

国内市場 民生分野への展開
国内売上高 1,500億円

新規分野への展開

中期的な経営の方向性

外部環境の変化

新興国経済の成長
生産財の新興国への生産シフト
世界各地における貿易協定の締結
為替の急激な変動

先進国における生産財市場の成熟
災害対策意識の高まり
電動化の進展

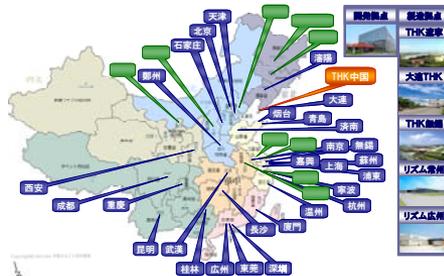
グローバル展開

《主な取り組み》

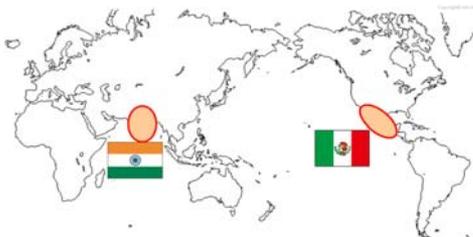
新規分野への展開

中国における販売・生産・開発体制の強化

- 各工場での生産能力増強
- 2014年末 60支店体制へ
- 開発の本格化



中南米・インドへの展開



その他

- 最適地生産の推進
- 現地調達への推進

自動車部品

- 直動製品の自動車部品としての採用拡大に向けた取り組み
- 新規採用メーカー、車種の拡大



免制震装置

- 部分免震テーブルの拡販
- 新型制震ダンパーの投入



電動アクチュエータ

- 海外生産推進
- ラインナップ拡充



P25プロジェクトの推進による経営基盤の強化

Ⅲ. グローバル展開

グローバル生産体制の拡充



THK 常州
2012年10月着工予定

THK RHYTHM MEXICANA
2012年5月着工

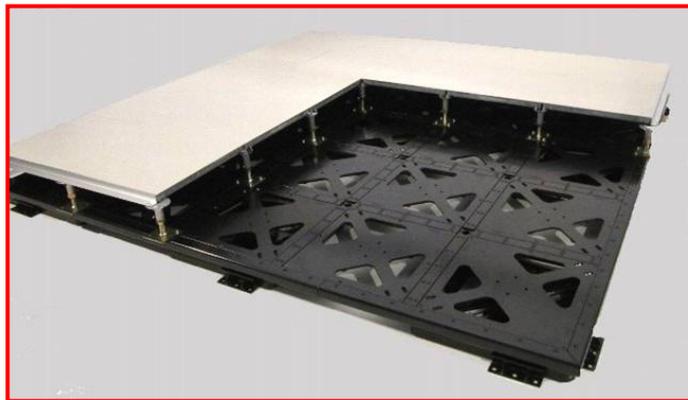


IV. 新規分野への展開

ACE事業部の展開

新 部分免震テーブルTGS

従来製品に減衰機能を追加

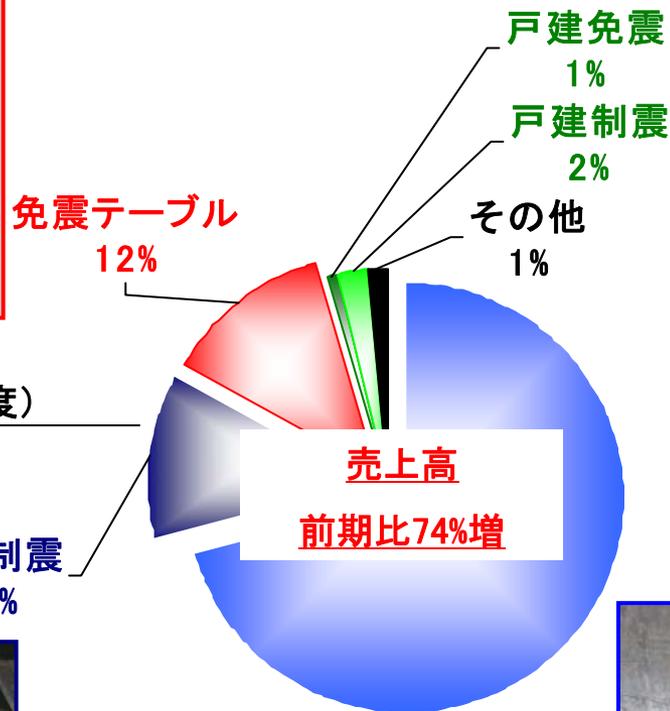


戸建免震・制震

採用棟数が着実に増加



ACE事業部の売上構成(2011年度)



新 制震ダンパー

従来製品に比べ減衰性能をさらに向上

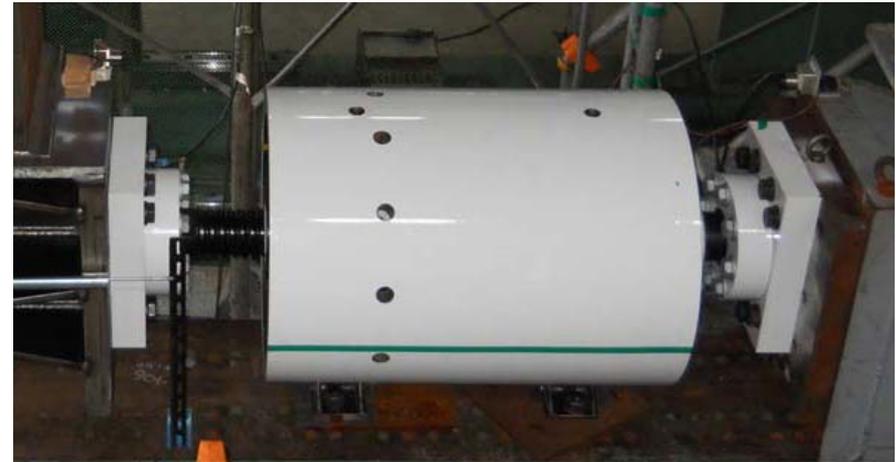


免震システム

採用棟数が着実に増加



超高層建物の長周期地震動対策に有効な
減衰装置『iRDT(慣性こま)』を開発
— 回転慣性を利用して超高層建物の揺れを制御 —



特長と効果

- 1) 超高層建物の長周期地震動による揺れ幅を縮小し、揺れの収束時間も短縮
- 2) 減衰装置に関わるコストダウンが可能
- 3) 小型軽量で、新築建物にも既存建物の耐震改修にも利用可能
- 4) 他の制震装置と併用が可能
- 5) 設計値を超える過大変形に対しても安全

IMT事業部の展開

海外生産
推進
ラインナップ
拡充

SAMICK THK
達城工場(韓国)



THK無錫
(中国)



SAMICK THK
本社工場(韓国)



大連THK
(中国)



THK山形工場
(日本)



電動アクチュエータ
多軸シリーズ
MA



電動アクチュエータ
プレスシリーズ
PC



電動アクチュエータ
ユニバーサルシリーズ
US



- サーボモータ用
ドライバコントローラ
- リニアモータシリーズ
- 周辺制御機器



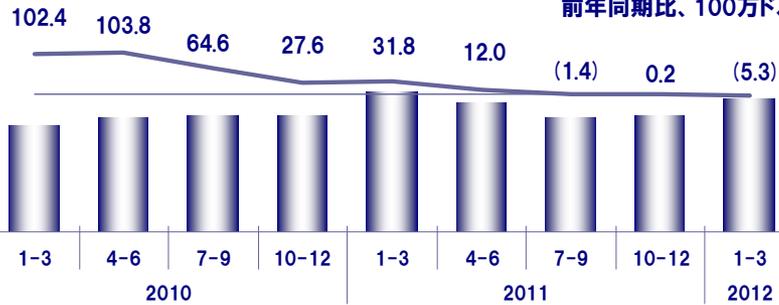
2011年度投入

V. 2013年3月期 業績予想

地域別受注状況

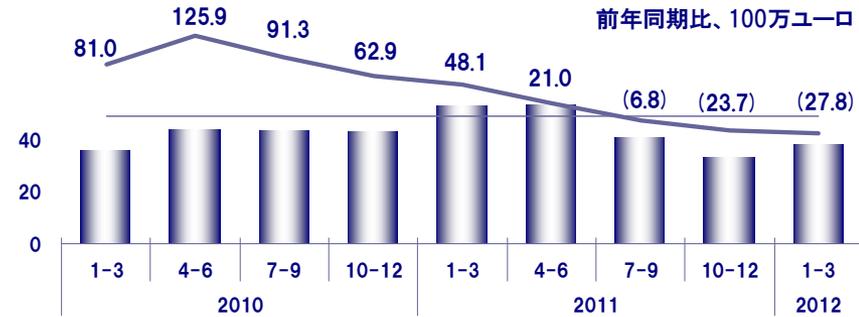
THK Holdings of America

前年同期比、100万ドル



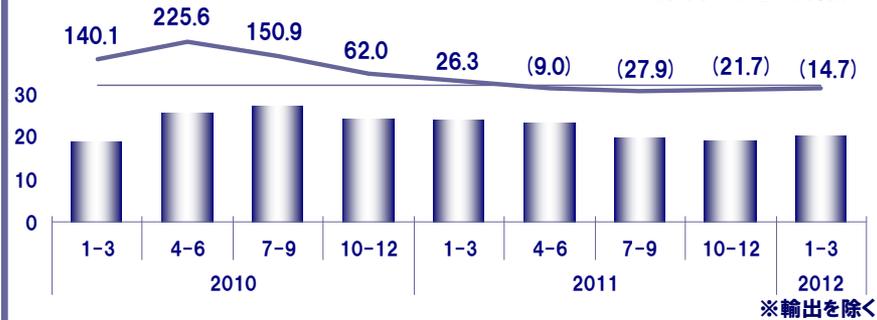
THK Europe

前年同期比、100万ユーロ



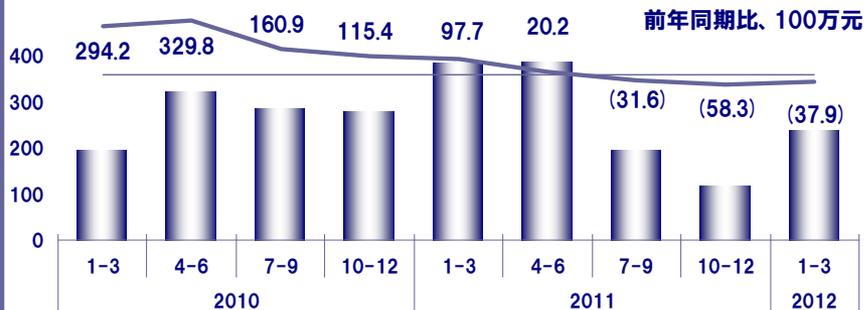
THK(国内)

前年同期比、10億円



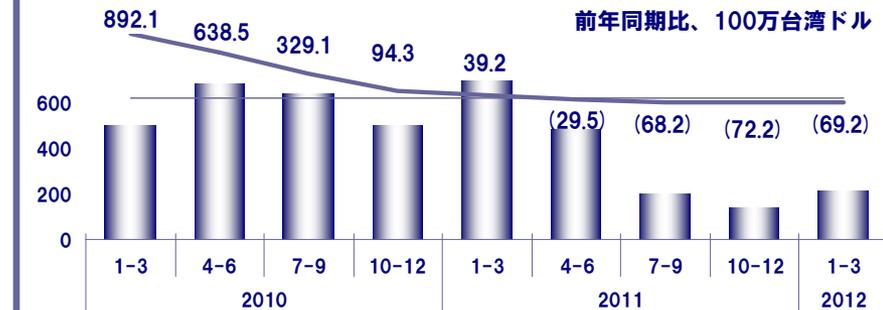
THK (CHINA) + THK (SHANGHAI)

前年同期比、100万元



THK TAIWAN

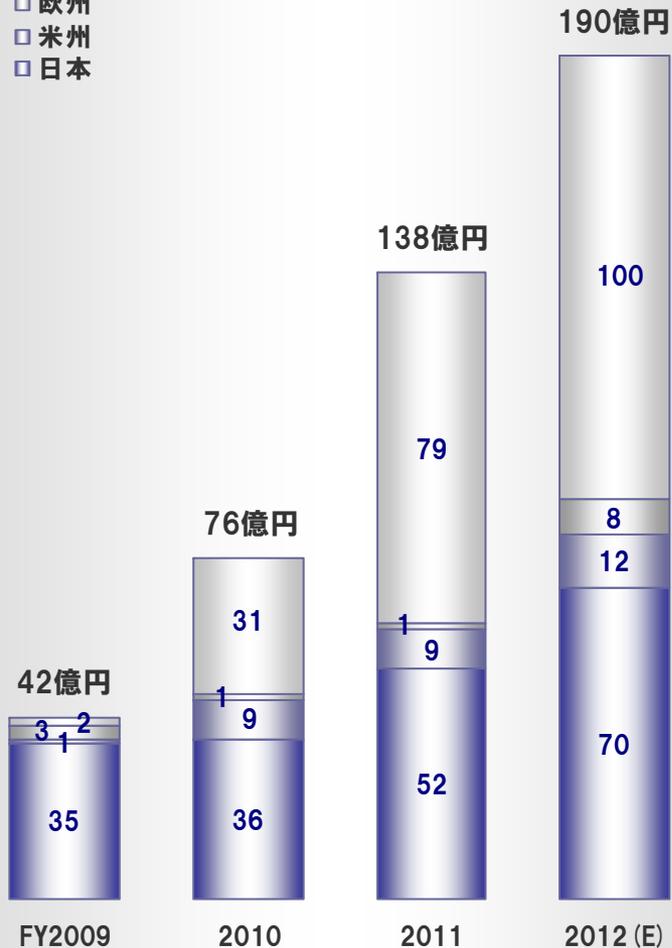
前年同期比、100万台湾ドル



設備投資・従業員数計画

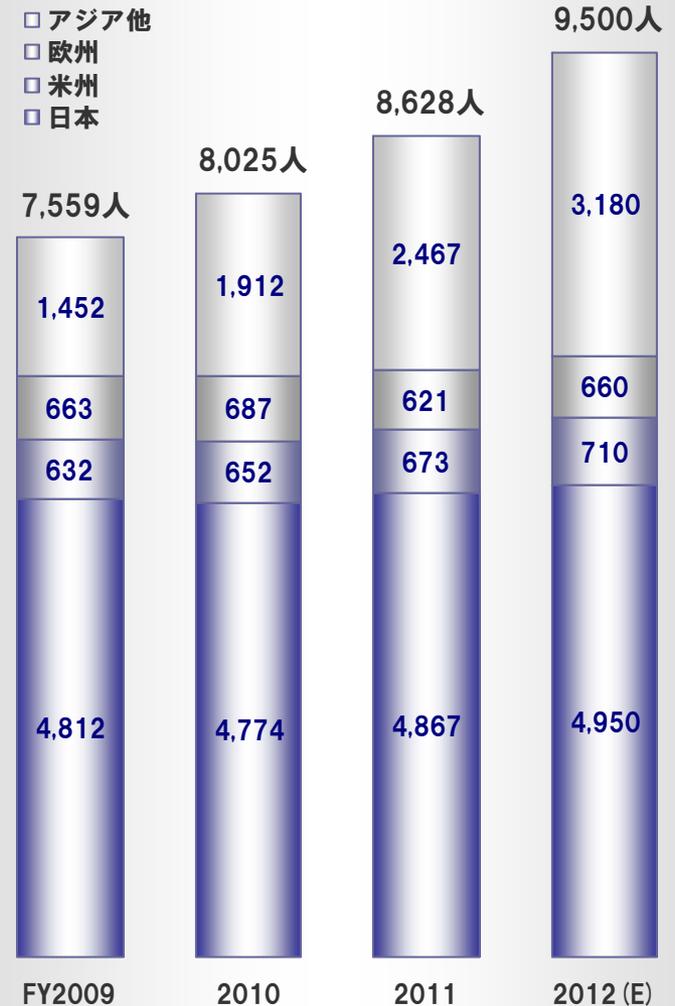
設備投資額

- アジア他
- 欧州
- 米州
- 日本



従業員数

- アジア他
- 欧州
- 米州
- 日本



利益計画 (連結)

(百万円)

	2013/3 計画	2012/3	2011/3
売上高	200,000	196,866	190,661
前期比	+1.6%	+3.3%	+65.3%
営業利益	22,500	19,745	21,844
前期比	+13.9%	△9.6%	-
経常利益	23,500	19,072	21,631
前期比	+23.2%	△11.8%	-
当期純利益	15,500	12,641	13,959
前期比	+22.6%	△9.4%	-

利益計画 (单独)

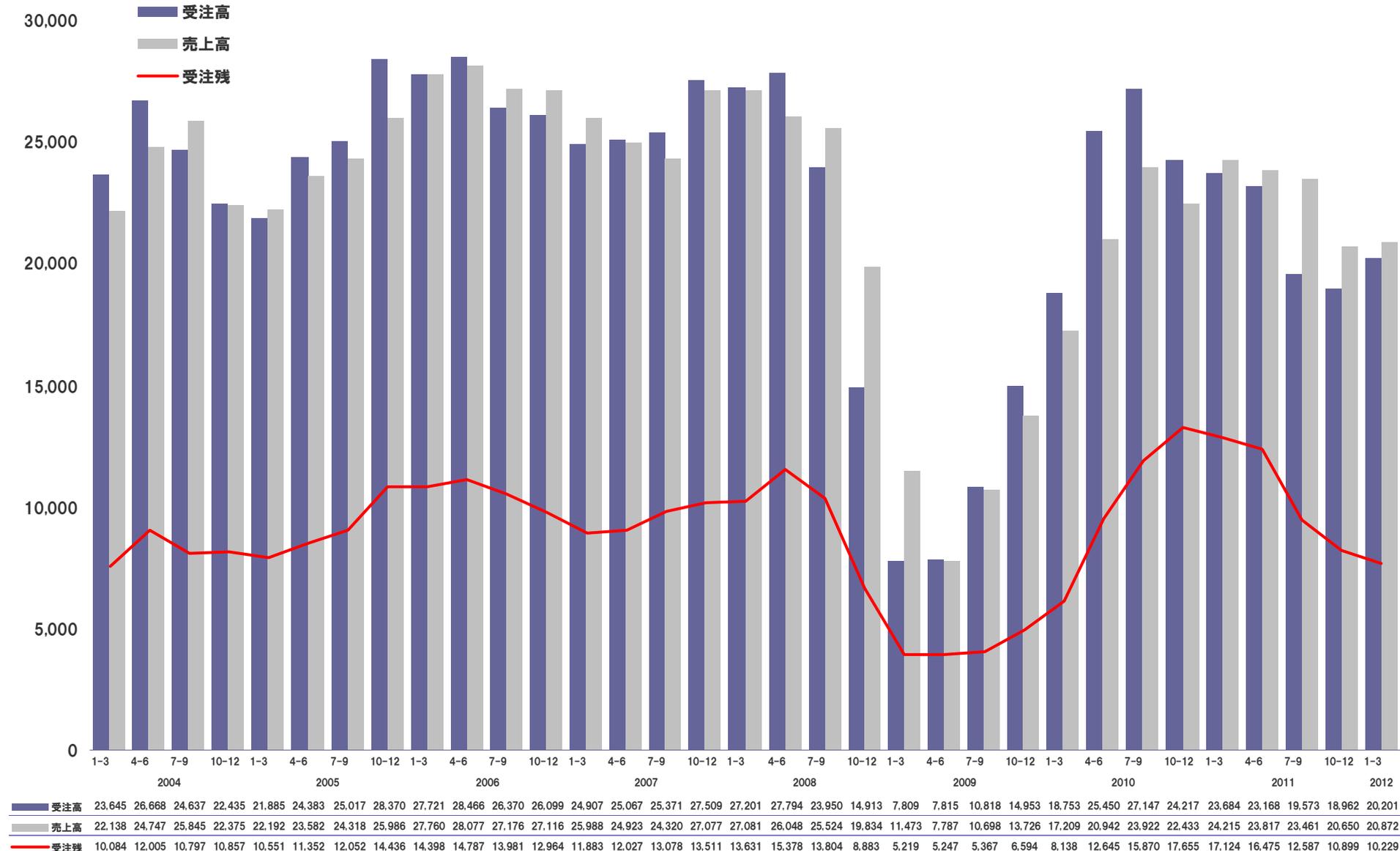
(百万円)

	2013/3 計画	2012/3	2011/3
売上高	128,200	130,107	133,691
前期比	Δ1.5%	Δ2.7%	+87.6%
うち国内	90,400	88,802	91,514
前期比	+1.8%	Δ3.0%	+85.2%
営業利益	15,000	14,493	17,118
前期比	+3.5%	Δ15.3%	-
経常利益	15,400	13,407	16,846
前期比	+14.9%	Δ20.4%	-
当期純利益	9,600	7,957	10,683
前期比	+20.6%	Δ25.5%	-

【補足資料】受注高・売上高・受注残高の推移（単独国内）



(100万円)



【補足資料】業種別受注高の推移（単独）

